

立西巻き



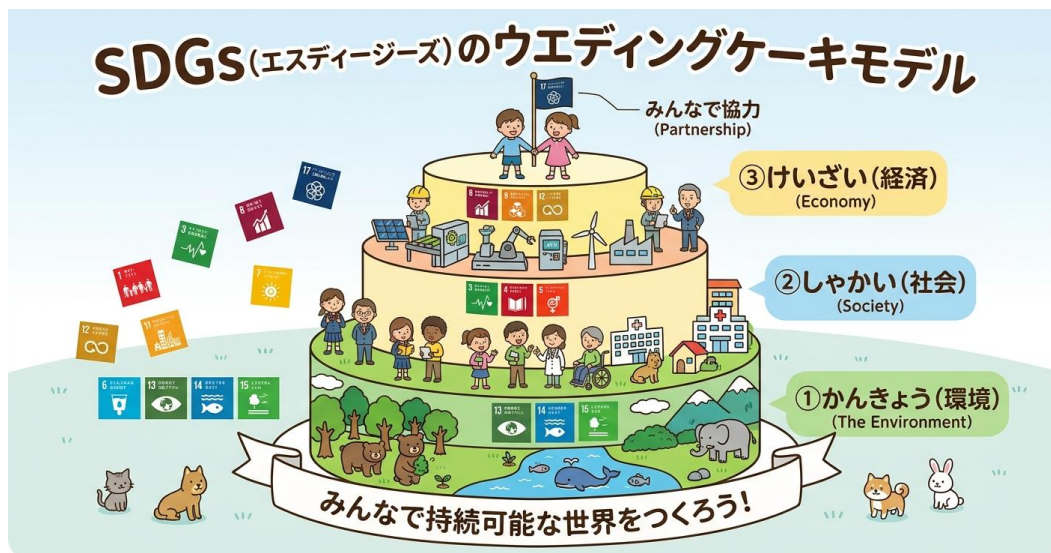
尼崎市立立花西小学校

2026.10.5 (月)

No.21

[校長先生つぶやき、つぶやく (校長だより)]

100 歳になっても ～とんぼ池を再生する理由～



あと 40 年経ちますと、私は 92 歳のおばあさんで、現在 12 歳の 6 年生は、今の私と同じ 52 歳のおばさん、おじさんになっています。そして、学校は 100 歳になっています。どんな世の中になっているのだろうと想像するとわくわくします。未来は、ずいぶん便利で、生きやすい世の中になっているのでしょうか。それとも、昨今の気候変動も関連して、暮らしに困難を抱えるのでしょうか。

いずれにせよ、ずっとずっとこれまでもこれからも大切にしていかなければならない基本的な考え方があると思います。

その考え方につながる一つの取組として、現在続けている「とんぼ池の再生活動」があります。

皆さん、ご存知の SDGs。2015 年 9 月の国連サミットで全会一致により採択された、2030 年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標（持続可能な開発目標：Sustainable Development Goals）のことです。

そして、この SDGs の 17 目標は、ウェディングケーキモデルとして、その構造を 3 層で捉えられています。なぜ、ケーキなのか…。それは、土台が崩れると上の層も成り立たないからです。

環境が壊れる⇒安全な生活が難しくなる⇒社会が不安定になる⇒経済活動も持続できなくなるという関係です。ですから、SDGs は、単に「環境・

社会・経済」をそれぞれに頑張りましょうというのではなく、「環境を土台として、社会を支え、その上に持続可能な経済をつくる」という考えによります。

とんぼ池の再再生は、単純なものではありません。

環境：とんぼ池・生き物・自然環境を再生

社会：子ども・学校・地域が一緒に活動する

経済：地域資源を生かした持続可能な活動へ

つまり、環境を守り整えることが人と人とのつながりを生み、そのつながりが地域の持続可能性につながるということなのです。

先週、私は遠方への出張のため、とんぼ池の再生活動に参加できない日がありました。子どもたちや先生、地域・保護者の皆さんに任せっ放しにすることに幾分の申し訳なさを感じながらの出張でした。

けれども、帰阪したその晩見たとんぼ池は、道や橋ができ、とても美しく、力強さを感じ取りました。

あらためて、これから「めざす立花西小学校」の姿、大切にすべき教育

の在り方を整理することができました。

再再生活動はまだ
まだ続きます。

どうぞ、皆様、お力添えください。

